

環境保全と再資源化への提言誌

月刊廃棄物

Monthly the Waste Vol.48 No.614

since 1975

■ 特集

プラスチック新法で どう変わる？

■ 特別寄稿 脱炭素×廃棄物・3R・循環経済を展望する

■ 連載 時事解説 廃棄物実務の視点

■ シリーズ 生ごみリサイクル基礎講座



排ガス中のCO₂をメタノールに転換 JFEエンジニアリング(株)／三菱ガス化学(株)

【問合せ】TEL 03・3539・7250

JFEエンジニアリング(東京都千代田区)と三菱ガス化学(東京都千代田区)は、清掃工場の排ガスから回収したCO₂のメタノール(写真参照)への転換に国内で初めて成功した。両社は、脱炭素社会の構築に向け、グリーンメタノールの製造を通じて貢献したいとの思いが一致。CO₂を原料としてメタノールを合成するCCU(二酸化炭素回収利用)プロセスの実証実験を共

同で実施。今回、都内の地方公共団体の清掃工場で回収したCO₂を用い、三菱ガス化学の新潟研究所でメタノール転換試験を実施した結果、ごみ燃焼排ガス中のCO₂からメタノールを製造できることを確認。JFEエンジニアリングはごみ焼却排ガスからCO₂を回収する実証試験も実施。CO₂の回収率は90%以上で回収したCO₂の純度は99.5%以上であることを確認している。

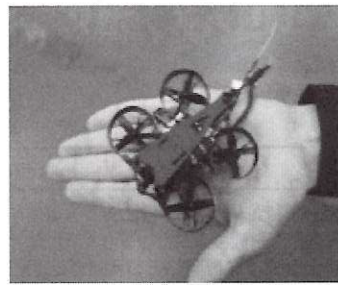


炉内など狭隘部をドローンで点検 光洋機械産業(株)

【問合せ】TEL 03・3534・7029(同社事業開発部)

光洋機械産業(大阪府大阪市)は、ごみ焼却炉内など人が立ち入ることができないエリアを点検する「狭隘部ドローン点検サービス」(写真はマイクロドローン)の提供を開始した。機械化と遠隔化を可能にしたことですべての検査記録が可能になり、人手不足解消や作業性・安全性の向上に貢献できるとしている。これまで狭隘部の点検作業は、足場の設置

を含め、1週間以上の工期がかかっていた。今回の新サービスは1日に短縮でき、作業人員は二人程度で人件費や安全確保コストなどは約50~70%低減できるという。ドローンによる作業範囲は30cm以上の空間がある場所すべて。主な用途は、ごみ焼却炉をはじめ、煙突、管路、配管、トンネル、ダクト、ボイラー、集じん機、クレーンガーダー。



廃棄物コンテナをオンライン管理 (株)エスエムエス

【問合せ】TEL 073・435・4111

【基本料金】月額1万1000円(税込)。設置件数50件までは基本料金で51件以上は件数に応じた利用料金が必要

エスエムエス(和歌山県和歌山市)は、産業廃棄物用コンテナをオンラインで管理できるサービス「産廃コンテナbee」の提供を開始した(画像はロゴデザイン)。専用のQRコードシールをコンテナに貼り、スマートフォンで読み取ることでコンテナの設置や引き上げ状況、交換・回収依頼などの管理を行うことができる。同サービスは、専用のアプリケーションやソフトウェ

アが不要でインターネット接続環境があれば利用できる。スマートフォンでコンテナのQRコードを読み取ることで、コンテナの設置・引き上げデータを集約でき、管理業務の簡略化につながる。貸し出し中のコンテナの状況は画面上で一覧にして確認可能。また、設置場所を地図上でも表示でき、その画面から回収に向かう経路の確認やナビゲーションにも対応する。

コンテナ回収業者をカンタンに!
産廃コンテナbee



Hard & System NEWS

新製品・システム紹介